

道徳科学習指導案

平成30年 8月31日(金) 第5校時 3年A組教室

授業学級 3年 A組 (41名)

授業者 指導教諭

1 主題名 「出場辞退」(3年) 内容項目C-15 より良い学校生活、集団生活の充実

2 主題設定の理由と学級の実態

3年A組の生徒たちは、夏休み直前にして、生活週番の継続が途切れてしまい、夏休み明けから再スタートしている。週番の継続には個人個人が自分にまかされたことに責任をもって取り組む必要があるだろう。

資料「出場辞退」は、大会規則を破った生徒のせいで、精一杯練習を行い獲得した金賞や県大会出場を辞退しなければいけないと知らされ部活内で話し合いをしている時に、吹奏楽部に所属する主人公のぼくが、自分たちを今まで応援してくれていた人々を裏切る大変なことをしてしまったということに気付き、現実を受け止め、出場辞退を決めるという話である。

そこで、資料「出場辞退」を読んで集団の中での連帯責任を考え直し、集団の中で責任をどのようにして果たしていくかを考え直していきたいと考え、本主題を設定した。

3 主眼

資料を読み、出場辞退が決まった時の「ぼく」の気持ちを考える場面で、自分が「ぼく」の立場だったら、アメをなめていた人が許せるかどうかを考えたり、「ぼく」が現実を受け止めることが出来たのはどのような思いからか考えたりすることを通して、集団の中で自分の役割を果たそうとする気持ちを育む。

4 展開

段階	学習活動	予想される生徒の反応 (太字はキーワード)	◆学習内容 ◇教師の指導・援助	時間	備考
導入	1 本時の学習の見通しをもつ。	ア どうして高知高校は甲子園に代理出場したんだろう。 イ 明德義塾高校が不祥事を起こしたって聞いたことがあるぞ。数人の部員のせいで大会に出れなくなるなんてかわいそう。 ウ 学校で行っている生活週番や給食週番の信頼の継続も、連帯責任によると思う。	◆高知高校が2005年に甲子園に代理出場した写真を提示し、なぜ代理出場したのかを考える ◇明德義塾高校が一部の部員の不祥事により甲子園出場を辞退したことを提示する。 ◆連帯責任に関する自己の経験を想起する ◇部活動や学級活動などで連帯責任を感じたことはあるか問い、その時の気持ちも語るように促し、全体で共有する。	5分	PC
	2 自分が「僕」の立場だったら納得できるかを考える。	エ 今までの「ぼく」や他の人の努力が踏みにじられたようで悲しいから納得できない オ 同じチームの仲間に注意することは出来たと思う。納得はできないけど、仕方がないと思う。 カ アメをなめた人の事を決して許せないから、もし自分が「僕」の立場だったら、出場辞退に、納得することが出来ない。	◆資料を読み、内容を整理する ◇話の流れを確認した後、自分が「ぼく」の立場だったら納得できるかを問う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">発問：自分が「ぼく」の立場だったら出場辞退に納得できるだろうか。</div> ◆各自で考えをまとめ、理由とともに説明する。 ◇立場とともに理由を尋ね、立場を分けて板書する。	15分	プリント
展開	3 「ぼく」が出場辞退を受け止めることが出来たことについて話し合う。	キ 確かに出場辞退は悔しいけど、自分たちはいろいろな人に大変な迷惑をかけてしまったことに気付いて、申し訳なく思ったからだと思う。 ク 悲しんでいるのは自分だけでないと気付いたからだと思う。 ケ 自分たちよりも今まで応援し続けてくれた先生の方が悔しいと気付いたからだと思う。	◆各自で考える時間を設け、その後には共有する場を設ける。 ◆自分の考えを発表し、友の発言に対してさらに考えたことを出し合う。	20分	
	4 本時の学習を振り返る。	コ 給食当番や生活週番で、みんなで継続を続けていけるように、自分の役割を果たしていきたい。 サ 3年A組も集団なので、一人一人がクラスに迷惑が掛からないように生活をしていく必要があると思う。	◆考えたこと、集団生活の中でどのように過ごしていくかをワークシートにまとめ、発表し、共有する。	10分	
終末					

中心発問案

- ・本当に出場辞退をすることが責任をとることになるのだろうか
- ・出場辞退を決めた時の先生の気持ちはどのような物だったのだろうか
- ・みんなの意見を聞いて、金賞が金賞がという気持ちが不思議と僕の中で消えていった時の僕の気持ちはどのような物だったのだろうか→あんまししっくりこない

どうして僕は出場辞退を受け止めることが出来たのだろうか
出場辞退を受け止めることが出来たのはどのような思いからだろうか。

一番考えさせたいこと

→責任を取るって何だろう。どのように集団の中で暮らしていけばよいだろうか。